

# 令和5年度 京都府スーパーサポートセンター(SSC)主催 京都府南部地域 視覚支援「親子のつどい」 報告

山城教育局管内(京都府南部地域)の小・中学校に在籍する見えにくさ(弱視)のある児童生徒とその保護者、山城教育局管内(京都府南部地域)に居住する盲学校小学部・中学部の児童生徒とその保護者を対象に「親子のつどい」を開催しました。

コロナ禍の3年間は実施を見送り、4年ぶりの開催となりました。

当日は、小学校2年生から中学校3年生までの5人の子ども達とその保護者の方に御参加いただきました。

- 1 開催日時 … 令和5年12月2日(土)9:30~11:45
- 2 開催場所 … 京都府スーパーサポートセンター SSCラボ 他  
(京都府立宇治支援学校内)
- 3 内 容 … 児童生徒交流会「視覚障害者スポーツ体験」  
保護者交流会「見えにくさのある子の子育てについて」

## 児童生徒交流会

- 内 容
- ・視覚障害者スポーツの紹介
  - ・ゴールボールの体験
  - ・意見交流

(児童生徒感想より)  
今度は視覚障害のサッカーをやってみたい。



(児童生徒感想より)  
見えにくくて困った時にどうしているかをもっと聞いてみたい。

初めて出会う友達に最初は緊張していた子ども達も、ボールのやりとりやチームに分かれてゴールゲームをする中で、徐々に打ち解け、声を掛け合って作戦を練る姿が見られました。

最後に集まって「黒板が見えにくい時はどうしているの?」「大縄跳びは友達が跳ぶのに合わせたら跳べたよ。」など、それぞれの経験をもとに、『見えにくさ』を共通の話題にしながら話をする事ができました。



## 保護者交流会

- 内 容
- ・弱視体験、視覚支援機器の体験
  - ・児童生徒交流会の参観
  - ・意見交流



我が子の見え方に合わせた弱視レンズを体験していただき、「こんなにも黒板が見えにくいとは知らなかった。」「教科書とノートを見比べるのに苦労するのが分かった。」など見えにくさの苦労を実感されていました。

意見交流では、進路のことや、学校での配慮のこと、弱視学級での学びのことなど、保護者の方のお考えを共有することができ、貴重な時間になりました。

(保護者アンケートより)  
・今まで同じような悩みを持つ保護者の方とゆっくり話す機会がなかったので、色々な話を聞けてよかったです。  
・他の学年の話が聞けて、今後どのようにしていけば良いか勉強になりました。